

PDF版につきましては、このコーナーは掲載いたしません。ご了承ください。

## 子どもを水の事故から守ろう

今年も水に親しむシーズンが到来！

今年も夏本番を迎えました。郡内にも多くの海水浴客が訪れ、子ども達の元気な声が聞こえるのももうすぐですが、例年、この時期は水の事故が多く発生しています。

山口県下では、昨年の夏期（6～8月）の3ヶ月間に子どもの事故が7件発生し、1人が亡くなっています。ここ大島は、海水浴場のメッカでもあり、海での水難事故も大いに懸念される場所です。

地域の皆さんで、次のことに注意して、子どもさんを水の事故から守りましょう。

- 水遊びは、保護者が十分監視できるところでさせる
- 雨で増水した河川、ため池には入らせない
- 「プールだから大丈夫」と過信せず、特に小さいお子さんからは絶対目を離さない
- 子どもの年齢や水泳能力、天候、水泳場所などを考えて、無理な水泳をさせない
- ため池、古井戸、工事現場の水たまりなどの危険な場所には、柵、蓋、立て札などの安全措置をとる
- 子どもだけで魚釣りに行かせる場合は、安全な場所かどうかよく確認をしてから行かせる

大島警察署

## ホロコーストパネル展

◆日時／8月1日(月)～16日(火)

午前9時～午後5時（夜間利用団体がある場合は、最長午後10時まで開館）

◆場所／大島文化センター玄関ホール

◆内容／「ホロコースト」とは、ギリシャ語で「全てを焼きつくす」という意味です。現在では、ナチス・ドイツによってなされた600万人のユダヤ人大虐殺をさして使われています。「ホロコーストで消えた村」「なぜ、起きたのか～ホロコースト～」「アンネ・フランクの生涯」の3つをテーマに福山市のホロコースト記念館から提供されたパネルを展示します。

◆問い合わせ／大島教育支所 ☎74-5300